

ミカン生育情報

千葉県
平成 26 年 8 月号

平成 26 年 7 月の気象

平均気温は、平年に比べ第 1、4 半旬はそれぞれ 0.3、1.1℃低く、それ以外の半旬は 0.1～0.8℃高く推移した。月平均気温は 24.4℃で平年並みであった。

本年度の関東地方の梅雨明けは 7 月 22 日頃と見られ、平年より 1 日遅れた。降水量は、全ての半旬で平年より少なく、第 5 半旬以降は降雨がなかった。月合計降水量は 55mm で平年の 31%であった。

日照時間は、第 2、4 半旬は平年より少なかったが、それ以外の半旬では平年以上となり、平年の 100%～172%であった。月合計日照時間は 203 時間で平年の 116%であった。

表 1 平成 26 年 7 月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温 ℃		降水量 mm		日照時間 hr	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	22.5	22.8	25	38	21	21
2	23.4	23.3	12	41	19	23
3	25.2	24.4	7	36	43	25
4	23.5	24.6	12	21	18	28
5	25.4	24.9	0	22	42	33
6	25.9	25.8	0	23	61	44
平均/合計	24.4	24.4	55	180	203	175

果実及び樹の生育

南房総市内の 2 か所の農園と暖地園芸研究所における温州ミカンの着果量は、早生温州、普通温州ともにほぼ平年並みであるが、樹によるバラツキが大きく、着果量が少ない樹も見られる。生理落果は平年並みである。

7 月下旬における調査園の果実生育状況を表 2 に示した。早生温州は横径、縦径の平年比がそれぞれ 101、102%で平年をやや上回っている。普通温州は、横径が 105%、縦径が 102%で平年を上回っている。また、川野夏柑は、横径が 113%、縦径が 111%で平年を上回っている。

病害虫では、果樹カメムシ類の発生がやや多い。

表2 果実の生育（平成26年7月30日）

No.	種類・品種	調査地	横径 (cm)		縦径 (cm)	
1	興津早生	三 芳	3.3	(89)	3.2	(94)
2		千 倉	4.0	(100)	3.5	(98)
3		暖地園研	4.3	(112)	3.9	(115)
4	大津4号	三 芳	3.6	(97)	3.1	(96)
5		千 倉	3.9	(104)	3.2	(102)
6		暖地園研	4.0	(115)	3.3	(110)
7	青島温州	三 芳	3.7	(101)	3.2	(100)
8		千 倉	3.7	(99)	3.2	(97)
9		暖地園研	4.1	(114)	3.3	(109)
10	川野夏柑	暖地園研	5.3	(113)	4.9	(111)
	平均*	早生温州	3.9	(101)	3.5	(102)
		普通温州	3.8	(105)	3.2	(102)

() の数字は平年値（平成6～25年の平均）を100とした比数

*早生温州：No.1～3の平均、普通温州：No.4～9の平均

8～9月の栽培管理

摘果 本年の着果量は、平年並みであるが、園地や樹によるバラツキも見られるため、それぞれの樹にあった摘果を行う。8月は、早生温州の仕上げ摘果、9月以降、収穫前までに樹上選果を行う。普通温州の仕上げ摘果は10月以降に行う。仕上げ摘果は、果実の大きさや外観、品質を揃えるための作業で、適正葉果比（早生温州では30葉に1果、普通温州では25葉に1果）に近づけるようにする。早生温州で着果量の少ない樹は、8月に仕上げ摘果は行わず、9月以降に樹上選果とあわせて行う。

病害虫の防除

温州ミカン ミカンハダニは、気温が低下し始める8月下旬以降に増殖する。この時期の加害は、果実の外観を悪くするため、収穫期まで発生に注意し防除を行う。防除の目安は、寄生葉率20%（葉10枚のうち2枚にハダニが寄生している状態）である。

サビダニは、高温乾燥条件で発生量が増える。前年に発生が見られた園や7月に防除を行っていない場合は注意し、初期防除に努める。

中晩生カンキツ類 9～10月は、ミカンハダニの発生に注意し、防除を行う。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>